

オニホソコバネカミキリ

コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

Necydalis gigantea gigantea Kano

選定理由

県内における、採集例は2例ときわめて少ない。また、全国的にみても産地が少なく、近年、特に個体数の減少が著しい。

形態

体長は30~40mm。上翅は退化し短く、体形は細長く、体色は黒く、触角と腹部の基部、脚（後脚の一部を除く）は黄褐色である。前胸背の縁に金色の微毛を有し、半透明の下翅は露出する。触角の長さは、オスで腹部中央付近までで短めである。止まっている時や飛んでいる姿は、大型のヒメバチと似ていて、それに擬態していると思われる。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

白山市。

生態

成虫は7~8月に現れ、訪花することも知られている。一般に、幼虫はクワの古木の枯死部を食べることが知られている。本県ではトチノキの樹洞で産卵している個体と、樹洞から飛びたった個体の2頭が採集されている。

生息地の条件

本種はクワ、ケヤキ、トチなどの大きな古木の枯死部を利用することから、大木の残る豊かな森林の存在が重要である。

生存の危機

今後、伐採や林道建設により、樹洞のある大木が残る森林が破壊される可能性が高く、生息地の森林保全が必要である。

特記事項

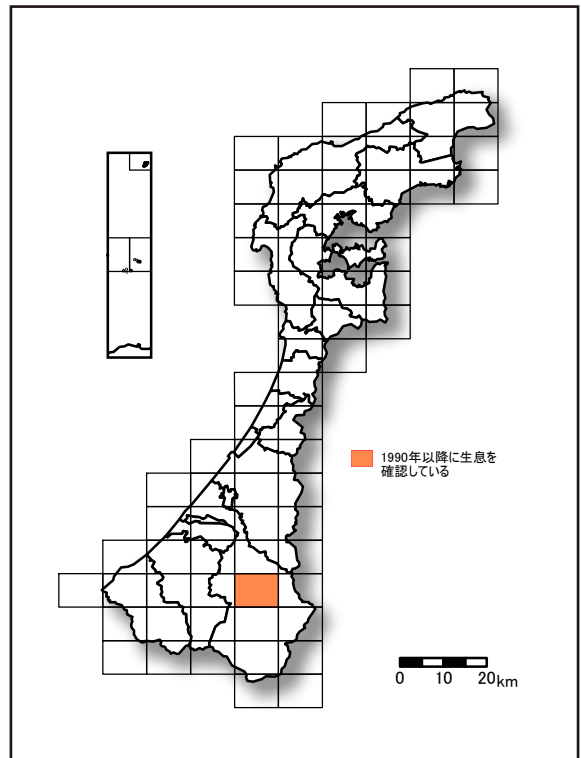
屋久島には、本種の別亜種が分布する。(A)

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.
井村正行 2001. 石川県におけるオニホソコバネカミキリの採集報告. とっくりばち, (68) : 26.



標本提供者: 井村正行



県内の分布